



東京海上・外国株式ファンド

追加型投信 / 海外 / 株式

月次報告書

ファンドの特色(詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

主に外国の株式に投資します。

「TMA外国株式マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主として外国の株式に投資します。(ファミリーファンド方式)

MSCIロクサイ指数(円ヘッジなし・円ベース)をベンチマークとして、ベンチマークを上回る投資成果を目標としてアクティブに運用します。

原則として、為替ヘッジは行いません。

ファミリーファンド方式で運用を行います。

資金動向および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

【分配金に関する留意事項】

- ・ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全額が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ・ 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

設定日	2001年3月30日	信託期間	2020年3月19日まで
決算日	3月20日(年1回。ただし、当日が休業日の場合には翌営業日とします。)		

ファンドの主なリスクについて(詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

当ファンドは、主に外国の株式など値動きのある証券を実質的な投資対象としますので、基準価額は変動します。

また、外貨建資産に投資する場合には、為替変動により損失を被ることがあります。

投資信託は、**元本が保証されているものではありません。**また、**預貯金や保険と異なります。**

当ファンドへの投資には主に以下のリスクが想定され、これらの影響により損失を被り、**投資元本を割り込むことがあります。**

- | | |
|----------|---|
| 株価変動リスク | ： 株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績・財務状況、市場の需給などを反映して変動します。また、発行企業が経営不安、倒産などに陥った場合は、投資資金が回収できなくなることもあります。 |
| 為替変動リスク | ： 外貨建資産の円換算価値は、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。為替レートは、各国・地域の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給その他の要因により大幅に変動することがあります。 |
| カントリーリスク | ： 投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化などにより市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想以上に下落したり、投資方針に沿った運用が困難となる場合があります。 |
| 流動性リスク | ： 受益者から解約申込があった場合、組入資産を売却することで解約資金の手当てを行うことがあります。組入資産の市場における流動性が低いときには直前の市場価格よりも大幅に安い価格で売却せざるを得ない場合があります。 |

5ページの「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

設定・運用: **東京海上アセットマネジメント**
URL <http://www.tokiomarineam.co.jp/>

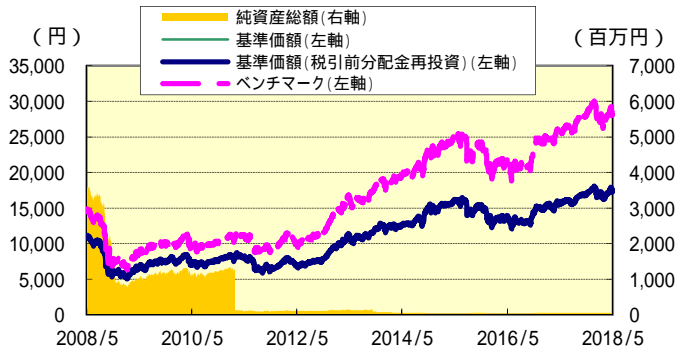


東京海上・外国株式ファンド 月次報告書

追加型投信 / 海外 / 株式

基準価額、パフォーマンスなどの状況

基準価額・純資産総額の推移



基準価額は信託報酬控除後のものです。後述の信託報酬に関する記載をご覧ください。
ベンチマークは設定日を10,000円として指数化したもので、参考情報として記載しており、
ファンドの運用実績ではありません。(設定日:2001年3月30日)

基準価額は1万口当たりで表示しています。

上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。
MSCIコクサイ指数(円ヘッジなし・円ベース)とは、MSCI社が発表している日本を除く主要
先進国の株式市場の動きを捉える代表的な株価指標です。同指数の著作権、知的財産権
その他一切の権利はMSCI社に帰属します。また、MSCI社は同指数の内容を変更する権利
および公表を停止する権利を有しています。MSCI社の許諾なしにインデックスの一部また
は全部を複製、頒布、使用などすることは禁じられています。MSCI社は当ファンドとは関係
なく、当ファンドから生じるいかなる責任も負いません。

基準価額・純資産総額

基準価額	17,480円
純資産総額	51百万円

騰落率(税引前分配金再投資、%)

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	+1.84	+2.18	+3.23	+11.34	+8.02	+74.80
ベンチマーク	+0.62	+0.60	+0.53	+10.45	+11.31	+183.13

ファンドの騰落率は、税引前分配金を再投資したものと計算しているため、
実際の投資家利回りと異なります。

分配の推移(1万口当たり、税引前)

期	日	金額
第13期	2014年3月20日	0円
第14期	2015年3月20日	0円
第15期	2016年3月22日	0円
第16期	2017年3月21日	0円
第17期	2018年3月20日	0円
設定来累計		分配実績なし

分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。
分配対象額が少額の場合などには、分配を行わないことがあります。

主要な資産の状況

当ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行っており、マザーファンドの資産の状況を記載しています。

資産構成

資産	比率(%)
外国株式	96.8
短期金融資産など	3.2
合計	100.0

純資産総額 29,239 百万円

国別投資比率上位10カ国(%)

国名	ファンド	ベンチマーク
1 アメリカ	73.2	66.2
2 イギリス	5.5	7.2
3 スイス	3.7	3.0
4 香港	2.6	1.5
5 スウェーデン	2.2	1.0
6 スペイン	1.6	1.2
7 デンマーク	1.5	0.7
8 カナダ	1.4	3.8
9 オーストラリア	1.2	2.7
10 ドイツ	1.1	3.8

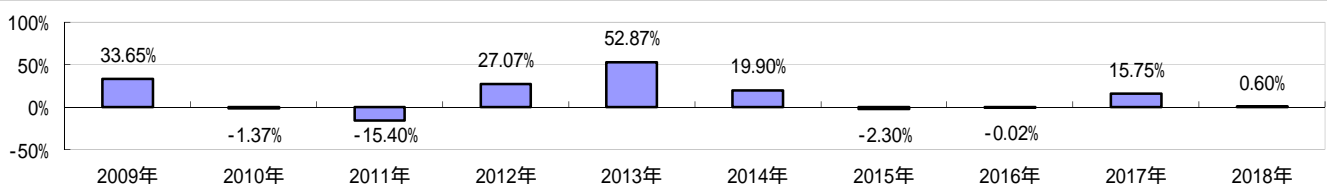
組入上位10銘柄

順位	銘柄名	国名	業種名	比率(%)
1	AMAZON.COM INC	アメリカ	小売	4.2
2	MASTERCARD INC-CLASS A	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.2
3	FACEBOOK INC-A	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.1
4	UNITEDHEALTH GROUP INC	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	3.1
5	MSCI INC	アメリカ	各種金融	2.8
6	INTUIT INC	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.7
7	FLEETCOR TECHNOLOGIES INC	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.5
8	ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	2.5
9	HONEYWELL INTERNATIONAL INC	アメリカ	資本財	2.4
10	BRIGHT HORIZONS FAMILY SOLUTIONS INC	アメリカ	消費者サービス	2.2

組入銘柄数 109

業種名は GICS(世界産業分類基準)産業グループ分類です。
比率は、純資産総額に占める割合です。
外国株式には不動産投資信託証券(REIT)を含む場合があります。
短期金融資産などは、組入有価証券以外のものです。

年間収益率の推移



ファンドの収益率は、税引前分配金を再投資したものと計算しています。
当年は昨年未と基準日の騰落率です。上記は過去の実績であり、将来の動向などを示唆・保証するものではありません。

5ページの「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご覧ください。

設定・運用: 東京海上アセットマネジメント

URL <http://www.tokiomarineam.co.jp/>

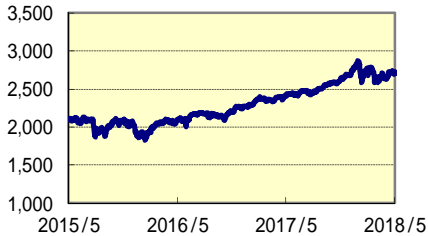


東京海上・外国株式ファンド 月次報告書

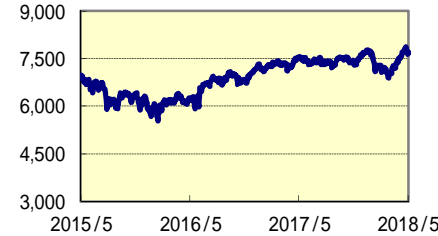
追加型投信 / 海外 / 株式

主要国の株価・為替の動き（過去3年）

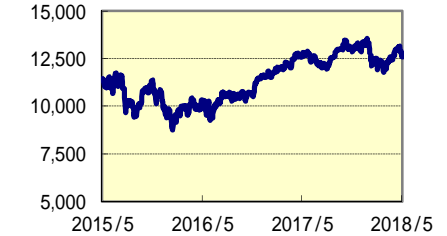
米国(S&P500)



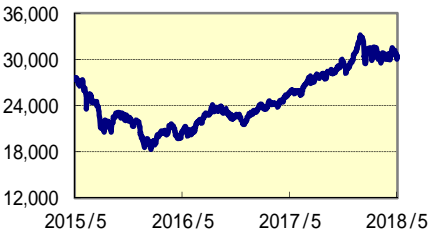
英国(FT100)



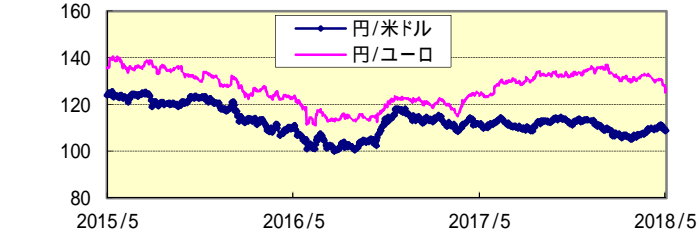
ドイツ(DAX)



香港(ハンセン)



為替



上記は過去の実績であり、将来の動向などを示唆・保証するものではありません。

出所：ブルームバーグ

ファンドマネージャーコメント

投資環境と運用経過

月前半の海外株式市場は上昇しました。4月の米国の消費者物価指数や雇用統計の民間部門の平均時給伸び率が事前予想を下回り、インフレに対する懸念が後退したことに加え、米中貿易交渉の進展に対する期待が高まったことなどから海外株式市場は上昇しました。月後半の海外株式市場は下落しました。米国が自動車輸入関税の引き上げを検討し、貿易摩擦に対する懸念が高まったことや、イタリアの政治的な不透明感の高まりなどから海外株式市場は小幅に下落しました。以上のような環境下、月を通して海外株式市場は上昇し、当ファンドの基準価額も前月末対比上昇しました。

今後の見通し

海外株式市場は、当面の間、米国の自動車輸入関税の引き上げなどの保護主義を巡る動きや、イタリアやスペインなどの欧州の政治動向に左右されるボラティリティ（価格変動性）が大きい展開を予想します。しかし、米国経済は堅調であり、企業業績は引き続き底堅く推移すると予想していることから、海外株式市場は徐々に上昇する展開を想定します。中長期的にも、世界経済の拡大基調が継続するなか、企業業績は堅調に推移すると予想しており、加えてインフラ投資や金融規制緩和などトランプ米政権の政策による景気拡大期待も株価の下支え要因となり、海外株式市場は緩やかに上昇すると想定しています。

見通しに対する上振れリスクとしては、トランプ米政権の政策などにより市場の想定以上に景気拡大が加速することが挙げられます。一方、欧米の金融政策において、想定以上に金融引き締めペースが加速することや貿易摩擦の高まりなどによる世界的な景気後退懸念の台頭などを下振れリスクとして想定しています。



東京海上・外国株式ファンド 月次報告書

追加型投信 / 海外 / 株式

お申込みメモ

詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

- 購入単位 : 販売会社やお申込みのコース等によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 購入価額 : 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- 換金単位 : 販売会社やお申込みのコース等によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 換金価額 : 換金請求受付日の翌営業日の基準価額
- 換金代金 : 原則として、換金請求受付日から起算して、5営業日目からお支払いします。
- 申込締切時間 : 原則として午後3時までとします。
受付時間を過ぎてからのお申込みについては、翌営業日受付の取扱いとなります。
- 購入の申込期間 : 原則として、毎営業日にお申込みを受け付けます。
- 購入・換金申込不可日 : 購入・換金のお申込み日がニューヨーク、ロンドンおよびフランクフルトの証券取引所のいずれかの休業日に該当する日には、お申込みの受付を行いません。
- 信託期間 : 2020年3月19日まで(2001年3月30日設定)
- 決算日 : 3月20日(年1回。ただし、当日が休業日の場合には翌営業日とします。)
- 収益分配 : 年1回の決算時に収益分配方針に基づき、収益分配を行います。
販売会社との契約によっては再投資が可能です。
分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。
- 課税関係 : ・ 収益分配時の普通分配金、換金時および償還時の差益に対して課税されます。
・ 課税上は株式投資信託として取扱われます。
・ 公募株式投資信託は、税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。
詳しくは販売会社にお問い合わせください。
・ 益金不算入制度および配当控除の適用はありません。
・ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

ファンドの費用

詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

投資者が直接的に負担する費用

- ・ 購入時手数料 : ありません。
- ・ 信託財産留保額 : ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- ・ 運用管理費用(信託報酬) : 信託財産の純資産総額に **年率2.052%(税抜1.9%)** を乗じて得た金額
- ・ その他の費用・手数料 : 信託財産の財務諸表の監査に要する費用^{*}、信託事務等に要する諸費用、立替金の利息、組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、先物・オプション取引に要する費用、外国における資産の保管等に要する費用および借入金の利息等が保有期間中、その都度がかかります。
^{*} 監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用(下表参照)

純資産総額	財務諸表の監査に要する費用
200億円以下の場合	純資産総額に年率0.0432%を乗じた金額(上限年43.2万円の1日分相当額)
200億円超の場合	年43.2万円の1日分相当額 + 純資産総額200億円超の部分に年率0.00324%を乗じた金額

監査費用を除くこれらの費用は実際の取引等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません。

上記手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

5ページの「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。



東京海上・外国株式ファンド 月次報告書

追加型投信 / 海外 / 株式

委託会社、その他関係法人

委託会社: 東京海上アセットマネジメント株式会社

信託財産の運用指図などを行います。

商号等: 東京海上アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第361号

加入協会: 一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

受託会社: 三菱UFJ信託銀行株式会社(再信託受託会社: 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)

信託財産の保管・管理などを行います。

販売会社

投資信託説明書(目論見書)のご提供、募集・販売の取扱い、一部解約事務および収益分配金・解約金・償還金の支払いなどを行います。

商号(五十音順)	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号				
株式会社 SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号				
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第94号				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号		○		○

(当ファンドの照会先)

上記販売会社または下記までお問い合わせください。

東京海上アセットマネジメント

サービスデスク 0120-712-016

土日祝日・年末年始を除く9時~17時

当資料のお取扱いにおけるご注意

当資料は、東京海上アセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。お申込みに当たっては必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社までご請求ください。

当資料の内容は作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績は、過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

投資信託は、値動きのある証券など(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。

投資信託は、金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。委託会社の運用指図によって信託財産に生じた利益および損失は、全て投資家に帰属します。

投資信託は、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

投資信託は、預金および保険契約ではありません。また、預金保険や保険契約者保護機構の対象ではありません。

登録金融機関から購入した投資信託は、投資者保護基金の補償対象ではありません。